

令和6年度第2回利根沼田地域保健医療対策協議会

病院等機能部会 <書面開催>

次 第

令和6年9月10日

1 報告

- (1) 地域医療構想（推進区域、モデル推進区域）について
- (2) 第8次群馬県保健医療計画の進捗状況について
- (3) 令和5年度病床機能報告の結果について

配付資料一覧

- 利根沼田地域保健医療対策協議会 病院等機能部会 名簿
- 資料1 地域医療構想(推進区域、モデル推進区域)について
- 資料2 第8次群馬県保健医療計画の進捗状況について
- 資料3 令和5年度病床機能報告の結果について

説明

1 報告

(1) 地域医療構想(推進区域、モデル推進区域)について

【資料1】

「推進区域」、「モデル推進区域」の候補について、各構想区域での協議の結果、「伊勢崎構想区域」と「藤岡構想区域」から手挙げがありました。その後、厚生労働省から両区域ともに「モデル推進区域」に設定されました。これについて報告するものです。

(2) 第8次群馬県保健医療計画の進捗状況について

【資料2】

第8次計画において、計画の着実な推進のため、PDCAサイクルを通じた計画の進行管理を行ったところですが、令和5年度の進捗と取り組み状況を取りまとめたため、報告するものです。

(5疾病・5事業及び在宅医療等にかかる数値目標(96項目)及び各施策の取り組み状況。)

【結果】

数値目標(96項目)のうち、進捗状況の把握できた項目が91項目。そのうち「達成」と「前進」が64項目(70%)で、全体としてはおおむね前進。一部の項目は、一層の取り組みが必要。

(3) 令和5年度病床機能報告の結果について

【資料3】

「病床機能報告」は、医療機関がその有する病床(一般病床及び療養病床)において担っている医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4区分)の現状と今後の方向性(2025年の予定)を自ら選択し、病棟単位で報告するものです。

このたび、令和5年度病床機能報告の結果を取りまとめたため、報告するものです。

【結果】

- ・全体の病床数は18,064床。(前年度と比較すると238床減少。)
- ・急性期病床は278床減少する一方、回復期病床は6床増加。慢性期は9床減少。
- ・医療構想上「回復期病床」の必要病床数が2,500床くらい足りないが、実際には「急性期病床」の中で回復期的な診療を行っているところがあり、定量的な基準により「急性期病床」を「重症」と「回復期的」で分類すると、「回復期的病床」が2,075床あるので、実際の足りない病床数は500床程度であると考えられる。

利根沼田地域保健医療対策協議会病院等機能部会名簿

令和5年4月1日～令和7年3月31日

氏名	役職名	備考
林 秀彦	沼田利根医師会長	
石田 智之	沼田利根医師会副会長	
森 平和明	沼田利根医師会副会長	R6.6.1～
前村 道生	国立病院機構沼田病院長	
関原 正夫	利根中央病院長	
赤尾 法彦	沼田脳神経外科循環器科病院長	
田中 志子	(医)大誠会理事長	
國元 文生	群馬パース病院長	
櫻井 明	(医)パテラ会理事長	
丸山 秀樹	上牧温泉病院長	
生方 純也	利根沼田広域市町村圏 振興整備組合事務局長	R6.4.1～
合計	11人	